

企業ネットワークを新しい力に

茨城県研究開発型企业交流協会

いばらきものづくり未来研究会



今年5月のIRDA総会では各種改革案が承認された

1989年11月に設立した茨城県研究開発型企业交流協会（IRDA、イルダ）は、今年5月のIRDA総会で、ベンギンシステム（茨城県つくば市）の仁衛琢磨社長が下部組織「23会」のリーダーに就任。同協会の略称も「いばらきR&D協会」とすることが承認され、さらに23会が提案した実行部会の立ち上げも承認された。

研究開発を積極的に志す企業の会

組織改革、企画・立案部門を強化

共同受注窓口 設置も検討

組織改革の主な変更点は、既存の最終決裁機関としての役員会と、企画・立案の機能を強化する改革を実施した。今年5月のIRDA総会の実行部会を新設すること、3機関の位置づけを明確にしようというものが、平成23年度に立ち上がったことが名前の由来となった「23会」は、機関としての実行部会を世代経営者など若手中心



今年7月の沖縄産業調査では、公設研究機関や廃ガラスリサイクル事業会社などを視察した

と分けることで、企画・立案を強化しようと考えた。IRDAの現在の会員数は31社、このうち2

3会は主力メンバー7人で構成され、つくばの研究開発を県内企業へ橋渡しをする県商工労働部の「いばらきサロン」と、つくば市の技術開発支援の2機関をオブザーバーとして、実行部会は広報部会、IRDA事業部会、会員間交流事業部会、オリジナル事業部会の4つ。部長は23会の主力メンバーが担当。部会員としてIRDA

の各会員企業から最低1人に参加してもらい、78人で構成されている。実行部会では、産学官技術交流会や自主開催の展示会など既存のIRDA本体の事業に加え、23会オリジナルの県外見学会や新規発足事業の実行も役員「早速、今年7月に2泊3日での沖縄の産業調査をする視察会を実施した。また、会員間交流事業を積極的に実施すること、一層の力を入れて取り組む。

こうした受発注の活発化を背景に23会では共同受注の窓口の設置を検討している。「窓口がないため、共同受注できなかった案件を逃してしまつた可能性が大いにある」として、難しい案件でも果敢に取り組み、在力のあふれるいばらきR&D協会の基盤作りを一層の力を入れて取り組む。

茨城県特集

若手経営者の育成を目的に

勉強会や見学会で相互協力

いばらきものづくり未来研究会は、県内の若手経営者の育成を目的に2001年に発足した。全国の中小企業の受発注や仲介を手がけるNCCネットワークを顧問に、茨城県中小企業振興公社が事務局を務める。初代会長の関正克朗社長は「地域のコミュニティはあるが、情報も限定され、悩みも打ち明けにくい。県域であれば仕事も違い、相互協力も可能になる」と当時を振り返る。このため県内を県央、県北、県南、県西、鹿行のエリアに分け、東京本社でも茨城県内に工場のある若手で元氣、前向き、技術力があり将来有望な中小企業の2代目、3代目を選抜し、約30社でスタートした。

40歳定年で常に若返り

「若手が発言しやすい」度は広沢技術振興財団が事業継承などの勉強会を「若手（関社長）と、途から研究会事業のセミナーが採択され助成金を受け、会長の今橋正守が、製作所社長は「リマング」に12年が経過した。現シヨックや東日本大震災があつて勉強の必要性を痛感するようになった」とい、決算書の見方や「今のメンバーは団塊ジ



ブランディングについてセミナーを開催

ニアが多く、23年後には3分の1が抜けてしまつ（今橋社長）ことから若手後継者の会員間として参加している。茨城県中小企業振興公社が事務局を務めているが、自治体にはあ

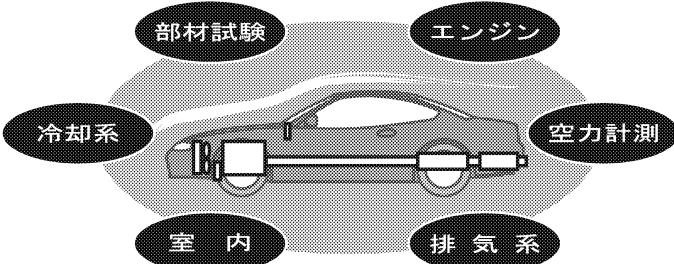


福井県のチタンクリエーターを訪問

ゆる助成制度があるものの、それを知らない中小企業も多い。知つていても利用の仕方、申請書の書き方はハードルが高い。こうした情報の発信からサポートまで、中小企業のあらゆるサポートを提供している振興公社が事務局を務めていること、会員は100社以上、探索している。

明日の未来を担う 茨城の優良企業

流体性能試験システム



TRC ツクバリカセイキ株式会社
http://www.trc-jp.com E-mail: trs@trs-jp.com

電子回路の試作品から 量産品まで承ります。

得意な分野は

- ✓ バルブモーターコントローラ
- ✓ 高速カウンタ・タイマ
- ✓ マイコン応用装置
- ✓ FPGA (DSP) 応用装置
- ✓ アナログ・デジタル回路
- ✓ LAN応用計測・制御装置

《1台限りの特注品を大歓迎します》

APPLICATION OF ELECTRONIC DEVICES
TSUJICON
ツジ電子株式会社

×線回折データ収集ソフト「SPEC」の日本代理店
本社 / 〒300-0013 茨城県土浦市神立町3739
TEL: 029-832-3031 (代) FAX: 029-832-2662
[ISO9001/ISO14001認証取得]

詳しくはホームページをご覧ください。http://www.tsujicon.jp/

S.P. エンジニアリング株式会社

各種産業機械・電気制御品の設計・製作
(メイン: 製鉄機械・原子力機器・研究開発品・ECO品など)

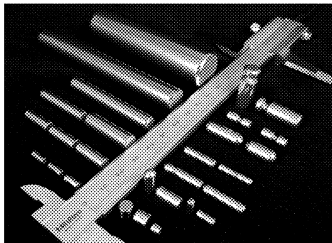
取締役社長 泉 富栄

〒317-0074 日立市旭町2-2-11 ☎0294 (24) 7555 (代)

URL: http://www.sp-eng.co.jp/

ニードルローラー SUJ2・SUS 専門メーカー

円筒形コロ「短納期」対応



異形ニードル「小ロット」対応

Mizui Seiki Co., Ltd.
Minimizing Shift And Roller

瑞井精工株式会社

茨城県常陸太田市折橋町825
TEL: 0294-82-2241 FAX: 0294-82-2251

http://www.mizui.co.jp

ISO9001 ISO14001 取得企業



小径ニードルピン「φ0.5〜」対応

各種研削盤用
砥石フランジ
内径・外径用マスターゲージ
http://www.inamism.co.jp ●各メーカー対応 ●オーダー製作可
株式会社 稲見精密
本社工場 〒308-0001 茨城県筑西市樋口774-3
TEL 0296-25-0892 FAX 0296-25-0827

お客様に感動と喜びを!!
ヤマト精機株式会社
代表取締役 萩原 晃
〒308-0837 茨城県筑西市嘉家佐和2101
☎ 0296-25-3488 FAX 0296-25-3490
E-mail yamato11-22@celery.ocn.ne.jp

切削加工の
限界を追求する。
雛形・難削材・SUS/AL精密加工
株式会社 今橋製作所
日立市十王町伊師20-42 (伊師工業団地内)
Tel 0294-39-1161 Fax 0294-39-1162
http://www.imahashi-ss.jp

割裂 (WARISAKI) 加工で広がる無限の可能性!!

割裂技術～成形技術～ヘミング加工技術～異種金属接合技術を
プレス加工で実現いたしました!



金属を割って裂く 割裂(わりさき)工法

国内特許取得・国際特許出願・商標登録済

金属板・棒・コイルをプレス金型内で分割し三次元形状を実現

割裂部品類を見ると、貴方の設計思想が変わります

お問い合わせ先



関プレス
金属加工のデパート

〒316-0013 茨城県日立市千石町4丁目3番20号

TEL. 0294-36-0300 FAX. 0294-34-5947 URL: http://www.sekipress.jp/